



ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、「取扱説明書」は必ず保管してください。

2023年3月

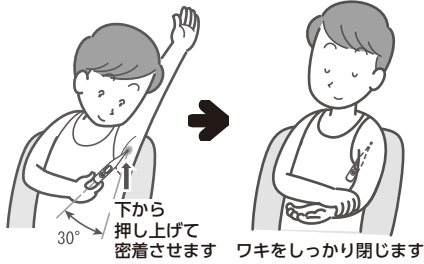
体温を正しく測るためのポイント

測る前に

- 測る前に、ワキの下の汗を乾いたタオル等で軽く拭き取ってください。
- 体温計が冷えている場合(冬季等)は、体温計を周囲温度になじませてから再度測定してください。

体温計をあてるところ

- ワキの下のくぼみの中心部に体温計の先端があたるように、斜め下方向(30°くらい)からはさんで、ワキをしっかりと閉じます。
- ワキが開かないようにしてください。



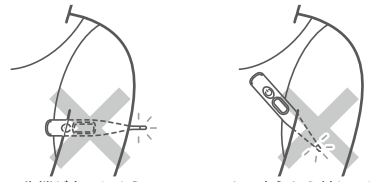
ひじを曲げて腕を体に密着させると、ワキが開きません。逆の手で腕を軽く押えると、しっかりとはさめます。お子様の場合は、腕の外側から優しく押さえてください。



こんなときは正しく測れません

● 正しい位置に入っていない場合

※左記の「体温計をあてるところ」を参照して、体温計を正しい位置に入れてください。



● ワキの以下以外の検温

本製品はワキ専用です。ワキの下以外(口中等)では、使用しないでください。

● 入浴・運動・飲食直後等

入浴、運動、食事、お茶等の後は、体温が上がっています。約30分間は検温を避けてください。

● 汗をかいた状態

汗でぬれていると実際よりも低い体温を示すことがあります。汗をかいたままの検温は避けてください。

測る前に、ワキの下の汗を乾いたタオル等で軽くふき取ってください。

● 起床直後

起床直後に動いた場合は、比較的激しく体温が上昇しますので、検温は避けてください。起床直後に検温する場合は、動き出す前の安静時か、30分以上経ってから検温してください。

● 検温中に動く

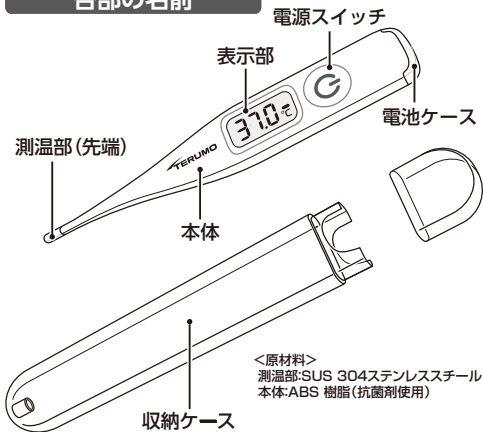
検温中に体温計が動くとき正しく測定できません。検温中は安静にしてください。

● 体温計が冷えている場合(冬季等)は、体温計を周囲温度になじませてから測定してください。

● 続けて検温する場合は、電源を切り、1分以上放置してから使用してください。

体温を測定する

各部の名前



測定の手順

1 電源を入れる

体温計を収納ケースから出し、電源スイッチを押します。



<全点灯>

表示部が全点灯します。
※電池マーク「」は表示されません。



<メモリー>

前回の測定値(メモリー)を表示します。
※前回が実測検温の場合は予測マーク「」は表示しません。
※前回の測定値がない場合は、「」と予測マーク「」が表示されます。



<測定準備完了>

「88.8」が点灯したらワキの下にはさみます。



※「888」が表示されないときは、測温部(先端)が32℃以上になっている可能性があります。その場合は、測温部(先端)を水で冷やしてから、再度測定してください。

2 ワキの下にはさむ

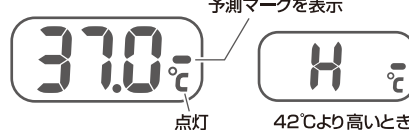
ワキの下のくぼみの中心部に体温計の先端があたるように、斜め下方向(30°くらい)からはさんで、ワキをしっかりと閉じます。「体温を正しく測るためのポイント」を参照してください。

3 体温を測定する

予測検温中は、予測マーク「」を表示します。約30秒で予測検温が終了します。「」が点滅から点灯へ変わり、ブザーが3回鳴ります。
※予測マークが表示されない場合は、再度測定してください。



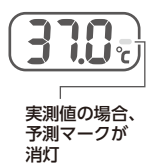
<予測検温後の表示>



実測検温する場合

- 予測検温の後、体温計を取り出さずに検温を続けます。検温開始から約3分後に実測検温に切り替わります。約10分後にブザーが3回鳴り、実測検温が終了します。

※より正確な体温測定をするときは、実測検温をしてください。



注意

- 続けて検温する場合は、1分以上放置してからご使用ください。

4 電源を切る

電源スイッチを押して電源を切ります。

- ※先端をきれいにしてから、収納ケースに入れ、しまってください。
- 何も操作しないと、約3分後に自動的に電源が切れます。



5 本体を収納ケースに入れる

電池交換の方法と注意

次の場合には、手順に従ってお早めに新しい電池(LR41)に交換をしてください。

- が点滅したら、お早めに交換してください。

が点灯すると、検温ができなくなります。

※最初から入っている電池はモニター電池のため早く消耗する場合があります。

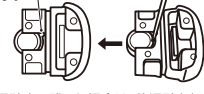
電池交換の手順



- 1 体温計本体裏側のフック止め穴に小さなマイナスドライバーなどを入れ、電池ケース側に押しながら電池ケースを引き抜いてください。

- 2 電池を取り外してください。(ピンを入れる穴があり、そこへ爪楊枝などの細いものを差し込むことで簡単に取り外すことができます。)

電池ケースにピンを入れる穴があります。 ※ 金属製の棒等は使用しないでください。



※ 電池が体温計内に残った場合は、体温計を傾けて電池を取り出してください。

- 3 電池ケースの⊕側に電池の⊕側を合わせてください。電池の⊕、⊖に気をつけて新しい電池をセットしてください。

※ 電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したり、けがや本体の故障の原因となるおそれがあります。

- 4 電池ケースの上下に注意して、押し込んでください。

警告

- ⚠ 電池や電池カバーは子供の手が届かない所に置いてください。子供だけで使わせしないでください。(本製品の先端部をかみ切ったり飲み込んだり、けがをする可能性があります。)

◎ 本製品および取り出しご使用済みの電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体の方法に従って処理してください。

△ この表示の欄は人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容ですので、ご注意ください。

測定ができないときは

故障と疑われる場合は、まず下記の項目について点検をお願いします。それでも正常に作動しないときは、保証規定をお読みの上、テルモ・コールセンターにご相談ください。

こんなとき	点検するところ	直し方
電源スイッチを押しても何も表示しない	電池が正しく入っていますか？ 電池が消耗していませんか？	「電池交換の方法と注意」を参照して、正しく入れ直してください。 新しい電池に交換してください。
Er.1	先端がワキの下からはずれていませんか？	一度電源を切った後、再度測定してください。
Er.2	・測定前の周囲温度が高くありませんか？ ・連続して測定していませんか？ ・「88.8」が点灯する前にワキの下にはさんでいませんか？	先端を水で冷やしてから、本取扱説明書の表面の操作方法に従い、再度測定してください。
Er.3	センサー回路の断線等で計測機器に異常があった場合	テルモ・コールセンターにご相談ください。

使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

警告

特に注意していただきたいことを示します。
・適正に使用しても、注意を怠ると死亡又は重症を負う可能性が想定されます。

注意

使用にあたり、一般的な注意を示します。
・誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物の傷害*のみの発生が予想されます。
※物の傷害とは、家屋、家財、及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

- 電池や電池カバーは子供の手が届かない所に置いてください。
 - 子供だけで使わないでください。
- [本製品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをする可能性があります。]

注意

<ご使用前に>

- 人の体温測定以外に使用しないでください。
- ワキの下以外で測定しないでください。
- 測定結果から、自分で診断したり治療をしないでください。必ず医師に相談し、指導を受けてください。
- 運動、入浴、食事の後の約30分間は検温を避けてください。
- 使用環境温度以下での測定は正しく測定できません。しばらく時間を置いて、使用環境温度(10~40℃)にて本取扱説明書の操作方法に従い、測定してください。

<取扱い上の注意>

- 体温計を修理・改造・分解しないでください。
- 先端等をぶついたり、かんだり、先端を持って振ったりしないでください。また、先端で目を突かないように注意してください。事故や故障の原因になります。
- 高温や直射日光のあたるところ、湿度の多いところ、ホコリの多いところ、腐食性のガスが発生するところ等に保管を避けてください。事故や故障の原因になります。
- 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 低温環境で測定した場合は、測定完了までの時間が長くなる場合があります。
- 夏季等で周囲温度が32℃以上の場合は、測温部を水で冷やしてから測定し、周囲温度の影響を受ける前にすばやく表示をお読みください。

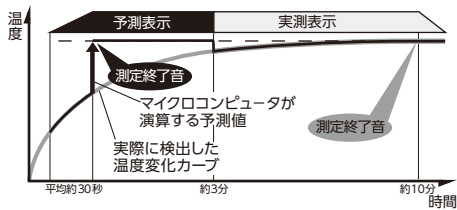
<お手入れ上の注意>

- 先端を消毒する場合は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽くふいてください。また、先端を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯(50℃を超えるお湯)で消毒しないでください。故障の原因になります。
 - 表示部及びその周辺は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等でふかないでください。変色の原因になります。
 - ご使用後は必ず清潔にして(水分をよくふき取って)付属の収納ケースに保管してください。
 - 長期間使用しない場合は電池を取り出して保管をしてください。
 - 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布をよく絞ってからふき取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリリン塩酸塩、フロルヘキジジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウム等は絶対に使わないでください。変色、変質、変形や故障の原因になります。
 - イソプロパノールやエタノールに長時間浸漬させた場合、体温計が変形する可能性があります。
 - 超音波洗浄はしないでください。故障の原因になります。
 - 水洗いをする場合は、洗面器等に貯めた水に体温計を浸してから、汚れをふき取るようにしてください。
- 本製品は、JIS T 1140: 2014に準じた防浸規格に適合しておりますが、本規格では流水等の高い水圧や長時間の浸漬については保証しておりません。

平衡温について

平衡温とは？

ワキの下で体温を測る場合、測定開始後10分以上経過すると、「もうこれ以上体温計の表示が上がらない」という温度に達します。これを「平衡温」と呼び、一般的にはこれを「体温」としています。



平衡温予測方式とは？

本製品は「平衡温予測方式」の採用により、10分以上の検温を必要とする平衡温を約30秒という短時間で予測演算します。これは、多数の体温測定結果から体温の上昇カーブを解析し、そのデータを基に、マイクロコンピュータが、検温時の温度上昇を細かく分析、演算して平衡温を予測し表示する方式です。

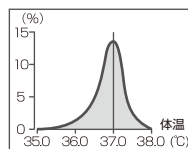
次のものがそろっていますか？

万一、不足しているものがあるときは、すぐにお買い上げの販売店又はテルモ・コールセンター(☎0120-008-178)までご連絡ください。この体温計の販売名はテルモ電子体温計P237です。

- 本体(電池含む)
- 収納ケース
- 取扱説明書(保証書付) / EMC技術資料

37℃は発熱とは限りません

熱を測って37℃あると、「熱が出た!」と思いますが、ところが、37℃は平熱の範囲内なのです。



日本人の体温分布
文部 田坂孝
日新医学 44:633,1957

正しく測れば、子供からお年寄りまで、健康なときの体温の平均値は36.89℃±0.34℃(腋窩:ワキ下検温)。だから37.0℃の平熱の人は珍しくありません。平熱は人によって異なるものです。

体温計は清潔にして使いましょう

人のワキの下には「皮膚常在菌」という細菌群が住み着いています。この細菌は病気や高齢などで体が弱った人に対し、病気を引き起こすことがあります。また感染症が流行しているときの体温計は特に要注意です。

さらに詳しい情報は

テルモ体温研究所のホームページをご覧ください。

テルモ体温研究所

検索

<http://www.terumo-taion.jp/>

テルモ体温研究所 体温から健康に

テルモ体温研究所は体温をキーワードに新しい健康生活を提案していきます。

保証規定

- (1) 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
- (2) ご使用中、故障が発生した場合はテルモ・コールセンターへご連絡ください。
- (3) 保証期間中に、通常の使用において万一故障が発生したときは、品質保証書を現品に送って送付していただければ、無償対応いたします。
- (4) ただし、以下の場合は保証期間中でも有償となります。
(イ) ご使用中で取扱いの過誤(落としたり、強いショックを与える)により発生した故障。
(ロ) 正しい状態(使用後は収納ケースに入れる等)でご使用にならなかった場合。
(ハ) 消耗品
- (ニ) 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
(ホ) 火災、地震、水害等天災地変等の不可抗力による故障及び損傷。
(ヘ) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
(ト) 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
(チ) 品質保証書のご提示がない場合。
(リ) 品質保証書をお買い上げ日、販売店名のご記載がない場合(ただし、お買い上げのレシートでも可)、また、字句を書き換えられた場合。
(ニ) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

受付先: テルモ・コールセンター ☎0120-008-178

仕様

販売名	テルモ電子体温計P237
型式	P237
測温方式	予測式(予測検温・実測検温兼用)
温度検出	サーミスタ
測温部位	腋下
測温範囲	32.0~42.0℃
検温時間	予測検温時間:約30秒(電子音で告知) 約3分後実測表示に自動切替 実測検温時間:約10分(電子音で告知)
温度精度	最大許容誤差 ±0.1℃(恒温水槽で実測測定した場合)
表示方式	液晶表示素子による体温値3桁デジタル表示
電源電圧	DC1.5V (LR41×1個)
消費電力	約1.5mW
分類	内部電源機器・ IPX7 (防水構造)・IPX7*
使用回数	予測検温:約2500回 実測検温:約800回
使用条件	周囲温度:10~40℃ 相対湿度:30~85%RH(ただし、結露なきこと)
保管条件	周囲温度:-20~60℃ 相対湿度:95%RH以下(ただし、結露なきこと)
輸送条件	
外観寸法	約幅21mm×長さ133mm×厚さ9mm
質量	約12g(電池含む)
付属品	収納ケース、モニター用電池(内蔵)、取扱説明書(保証書付)、EMC技術資料
EMC適合	本製品はEMC規格JIS T 0601-1-2:2018に適合しています。 CISPRグループ分類:グループ1 クラス分類:クラスB

- * IPX7:水深1mに30分間水没しても、内部に水が浸入しません。
- * 本製品の仕様は、改良のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- * 本製品、及び使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。
- * 取扱説明書に記載した以外の使用方法及び製造者以外によって行われた修理、改造、再調整等については、弊社はその責任を負いません。

ご相談・お問い合わせ先

この商品に関するご相談やお問い合わせは、販売名をご確認の上、お買い上げの販売店又は「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。

テルモホームページアドレス <https://www.terumo.co.jp/>



この体温計の販売名は **テルモ電子体温計 P237**です。

管理医療機器

一般的な名称: 電子体温計
販売名: テルモ電子体温計P237
医療機器認証番号: 303ADBZX00093000
販売業者: **テルモ株式会社** 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号
製造販売業者: **シチズンシステム株式会社** 東京都西東京市田町6-1-12
記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。
©テルモ株式会社 2023年3月

品質保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常の使用において万一故障が発生したときは、下記の保証規定により無償対応いたします。品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名: **テルモ電子体温計P237**

お買い上げ販売店名:

お名前:

印

ご住所:

お買い上げ年月日:

年 月 日

TEL: